

【防災メモ】

～冬の地震・津波への備え～

発生が切迫している日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・大津波をはじめ、冬に大地震が起こると、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さによるリスクが増大します。怪我をしたり、命を失うことなど無いよう、冬の大地震や津波には以下の点に注意して備えて下さい。

1. 雪や凍結路に対する備え

屋根に多量の雪が積もっていると、地震の揺れにより、屋根から落雪したり、雪の重みで家屋が倒壊したりする恐れが大きくなります。落雪は人を巻き込む危険があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。また、山沿いや傾斜地の雪崩危険箇所では、雪崩にも注意してください。

冬季に地震・津波から避難する場合、路面の積雪や吹雪などにより時間がかかります。避難場所までの経路は事前に確認しておきましょう。路面が凍結していると滑りやすく、避難の移動中に転倒して負傷する恐れもあるため、路面状況をよく確認し慌てず避難しましょう。



2. 火災に対する備え

暖房を使っている冬場に地震が発生すると火災のリスクが高まります。転倒時の自動停止機能があっても、停電から復電すると再起動したり、損傷した電気配線から漏電したりして出火する「通電火災」に注意が必要です。暖房器具のそばには可燃物を置かないようにして下さい。避難の際は、ブレーカーを切ってガスの元栓を閉めるようにしましょう。地震を感知して自動的に電気を遮断する感震ブレーカーを設置することも有効です。



3. 寒さへの備え

地震で電気やガスが止まり、普段の暖房器具が使えなくなるかもしれません。こんな時にも使用できるポータブルの暖房器具があると安心です。また、避難時に低体温症にならないため、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなども用意しておきましょう。冬季は身支度に時間がかかるので、これらは玄関などにまとめて用意しておくといいでしょう。



4. 雪についての情報

気象庁ホームページでは「今後の雪」の情報を提供しています。積雪の深さと降雪量の分布について、各地の24時間前からの状況と6時間先までの予想が地図上で確認できますので、避難路の確保等にご活用ください。

「今後の雪」 <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

